

科目区分	専門教育科目	科目名	レクリエーション技術		科目コード	40508	担当者	井手口弘明
対象学生	介護福祉士コース1年生	学期区分	1年(前期)	1年(後期)	単位数	2	卒業要件	選択
			免許・資格要件					
科目の主題							成績評価の方法と割合	
介護福祉士活動の有力な方法として、福祉の現場ですぐに役立つレクリエーションの技術を身につける。							定期試験(60%) 受講態度(40%)	
科目の到達目標							教育目標に基づく学修成果の到達目標	
							誠実な人柄と人間力(尽心)	高度な知性と創造力(創造)
1.	長崎県に古くから伝わる歌や遊びを通じて「長崎伝承歌・遊び」を学び、長崎の文化を理解する。						○	
2.	在宅、施設等でのアクティビティ、環境づくり等を通じた生活の快につながるコミュニケーションワークの技術を学ぶ。							○
授業方法								
<ul style="list-style-type: none"> 身近にあるレク財を活用して、対象者に合わせた創作やアレンジを考えさせる。 実習で対象者に合わせたプログラムを作成し、実施・評価を展開させる。 								
準備学修(予習、復習等に必要な時間または具体的な学修内容)								
<ul style="list-style-type: none"> 実習ごとに事前訪問して、対象者に合うレクリエーションのプログラムやレク財を検討する。 長崎の伝承遊びや歌、昭和の流行歌や唱歌について、日頃から意識して接するように心がける。 								
授業計画								
第1回	福祉レクリエーションの対象者を理解する～対象者の形態～(演習4・6)				第16回	聴覚・言語障害者のコミュニケーション。(音声明瞭度検査、母音による発声(ア行トーク))		
第2回	福祉の視点で考えるレクリエーション①(演習1・2・3・4)				第17回	レクリエーション実施報告会(介護実習1)		
第3回	きっかけ作り・アセスメントシート コミュニケーションのきっかけ作りを学ぶ				第18回	障害児(者)対応レクリエーション(紙芝居でレクリエーションを楽しむ)		
第4回	福祉の視点で考えるレクリエーション②(相手を理解する伝達力:図形、絵)				第19回	パネルシアター(世界は二人のために、桃太郎、さる・かに合戦、水戸黄門、貧乏神と福の神)		
第5回	ホスピタリティ・アイスブレイキング・音楽療法・回想法とは、高齢者教室				第20回	パネルシアター(発表)		
第6回	すぐに役立つレクリエーション(長崎じげ言葉、虫食いパネル、巻いて巻いて、ゴミ掃除競争)				第21回	認知症高齢者と楽しむ懐かしの唱歌や童謡②		
第7回	長崎伝承歌遊び① 演習(長崎のわらべ唄・鉄道唱歌)				第22回	介護実習2 レクリエーション計画書作成(介護老人保健施設・障害者施設)		
第8回	長崎伝承歌遊び② 演習(長崎の流行歌・時代を巡る歌)				第23回	高齢者教室(健康体操とゲーム遊び)		
第9回	手作りメッセージ(ラミネート加工)				第24回	クリスマス、誕生日へのメッセージカード作り(ラミネート加工)		
第10回	相互作用の活用(塗り絵から学ぶ唱歌)				第25回	レクリエーション実施報告会(介護実習2)		
第11回	アクティビティの展開方法(高齢者の健康教室:魚を開きましょ、十五夜さんの餅つき、季節の行事)				第26回	長崎伝承遊び② 演習(長崎丸ごとビンゴ・都道府県ビンゴ・県名さがし)		
第12回	長崎伝承遊び① 演習(お手玉遊び、ビュンビュンこま)				第27回	個別レクリエーション援助のためのアセスメントシートの記入		
第13回	回想法(カルタ遊び)				第28回	個人への直接レクリエーション援助プログラムの作成		
第14回	認知症高齢者と楽しむ懐かしの唱歌や童謡①				第29回	個人への直接レクリエーション援助プログラムの演習		
第15回	介護実習1 レクリエーション計画書作成(在宅訪問、特別養護老人ホーム)				第30回	総括:個人への直接レクリエーション援助展開の発表(期末テスト)		
教科書・参考書					受講生へのメッセージ			
<ul style="list-style-type: none"> レクリエーション支援の基礎 福祉レクリエーション講座 					レクリエーションを展開する上で、ICF(国際生活機能分類)を視点において考え、人間はどのように生きていくのかだけではなく「私たちはどのような生活を望んでいるのか」といった部分を根本的に目を向けていく必要があります。			